

新築住宅に係る設計住宅性能評価及び建設住宅性能評価の手数料

令和7年4月1日施行

《一戸建て住宅》

単位:円(消費税込)

《設計住宅性能評価》						
床面積の合計	必須の4項目のみの場合		必須の4項目 ＋ 選択項目を1～3項目選択する場合		必須の4項目 ＋ 選択項目を4～6項目選択する場合	
	一般	認定・認証付き	一般	認定・認証付き	一般	認定・認証付き
～ 100㎡ 以内	28,000	24,000	30,000	26,000	32,000	27,000
100㎡ 超 ～ 200㎡ 以内	31,000	27,000	35,000	29,000	37,000	31,000
200㎡ 超 ～ 300㎡ 以内	37,000	31,000	40,000	35,000	43,000	37,000
300㎡ 超 ～	55,000	44,000	61,000	50,000	61,000	54,000
液化化情報の提供を選択追加する場合の加算額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

《建設住宅性能評価(新築)》			
床面積の合計	建築基準法の検査と建設性能評価とを同時に申請する場合		
	一般	認定・認証付き(うち温熱認証無し)	認定・認証付き
	検査回数:4回 (配筋・躯体・断熱・竣工)	検査回数:3回 (配筋・断熱・竣工)	検査回数:2回 (配筋・竣工)
～ 100㎡ 以内	72,000	65,000	62,000
100㎡ 超 ～ 200㎡ 以内	82,000	76,000	72,000
200㎡ 超 ～ 300㎡ 以内	102,000	94,000	87,000
300㎡ 超 ～	112,000	104,000	96,000
床面積の合計	建築基準法の検査が他機関の場合		
	一般	*	認定・認証付き
		検査回数:3回 (配筋・断熱・竣工)	検査回数:2回 (配筋・竣工)
～ 100㎡ 以内	75,000	70,000	65,000
100㎡ 超 ～ 200㎡ 以内	85,000	79,000	75,000
200㎡ 超 ～ 300㎡ 以内	107,000	98,000	91,000
300㎡ 超 ～	117,000	108,000	100,000

- 注1 一戸建て住宅の併用住宅は、一戸建て住宅として扱います。
- 注2 設計住宅性能評価及び建設住宅性能評価の手数料の算定は、一戸建て住宅の延床面積とします。長期使用構造等の確認を設計住宅性能評価と併せて申請する場合は、上記評価手数料に7,000円を加算します。
- 注3 建設住宅性能評価については、次の①又は②の地域の場合、検査1回につき上表の建設住宅性能評価手数料に各々の割増額を加算します。但し、当センターの確認検査と同時に行う検査の場合は加算しません。
①奈良県内のうち宇陀郡曽爾村及び御杖村並びに吉野郡川上村及び東吉野村の場合、割増額10,000円
②奈良県内のうち吉野郡天川村、野迫川村、下北山村、上北山村及び十津川村の場合、割増額17,000円
- 注4 検査に係る事務処理も含めた安定的な検査を実施するため、建設住宅性能評価(配筋・躯体・断熱・竣工検査)の検査日の変更のうち、検査予定日の2営業日前の午後以後の変更(又はキャンセル)は、5,000円を原則として加算します。また、検査当日の検査日の変更(又はキャンセル)及び立会者不在等により再検査を実施する場合、当該手数料の30%又は20,000円の低い方の額を原則として加算します(検査予約及び検査申請前に必ず工事の進捗状況の確認をお願いします。また立会者不在等による再検査が生じないようお願いします。)。ただし、自然災害等による検査日の変更など申請者の責に帰さないと認められる場合は、当該加算はいたしません。また、当センターの建築基準法による検査において当該案件で同様のキャンセル加算又は再検査加算を行う場合は、当該加算(いわゆるダブル加算)はいたしません。
- 注5 上記手数料(建設住宅性能評価)には、支援センター負担金(4,000円/戸)を含んでいます。
- 注6 変更設計住宅性能評価及び変更長期使用構造等の確認(加算後の手数料)の手数料は、別表2で定められた手数料の2分の1の額とします。長期使用構造等に係る軽微変更該当証明は5,000円とします。
- 注7 住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則第4条第4項、同第7条第4項及び同第7条第5項に基づき、住宅性能評価書の再交付を行う場合の手数料は、1通につき2,000円とします。
- 注8 上記6で算出された合計額の1000円未満は切り捨てとします。
- 注9 上記以外で特に理事長が認めるものについては、別途考慮させていただきます。

【評価項目】		申請パターン
評価項目 ●:必須、○:選択	必須の4項目のみの場合	必須の4項目 ＋ 選択項目を1項目以上選択する場合
① 構造の安全	●	●
② 火災時の安全	-	○
③ 劣化の軽減	●	●
④ 維持管理	●	●
⑤ 温熱環境	●	●
⑥ 空気環境	-	○
⑦ 光・視環境	-	○
⑧ 音環境	-	○
⑨ 高齢者	-	○
⑩ 防犯	-	○
液化化情報提供	※	※